



学校便り 「志々伎」

No.23

平成30年3月23日
文責
平戸市立志々伎小学校
校長 村田 俊郎

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

【1年間、ありがとうございました。】

本日、1年生～5年生まで31名が参加して、修了式を行いました。

45分間授業に集中し、あいさつ上手なグレート1年生。

目標に向かってとことん突き進む笑顔がすてきな2年生

創造的な発想と発言力、プラス、協調力もつけてきた3年生。

パワフルだけじゃない！みんなのことを考えて動く力もつけてきた4年生。

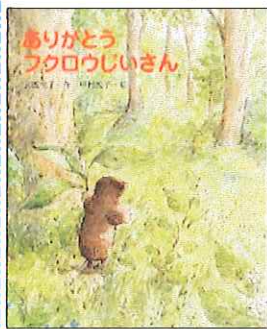
6年生を支えてきた落ち着きと指示力のある5年生。

志々伎小学校の子どもたちの成長は、「保護者の方や地域の方々の支え励ましのおかげである。また、一人一人がみんなのことを考えみんなが一人一人のことを考えて、学級力を高めてきた結果である」と話をしました。

1年間、子どもたちや志々伎小学校を支えてくださり、ありがとうございました。

【親子で読書・みんなで読書】

フクロウじいさんの穏やかでゆったりとしたやさしさが、人見知りやひどく一人ぼっちなモグラのモグちゃんを包み込みます。



ふたりの散歩の間のやりとりがとてもほほえましく、心が春の菜の花畑のように明るく幸せな気持ちになる絵本です。

【転出・退職のあいさつ】

〇〇 〇〇 教頭…定年退職

校歌の中にある「とわに変わらぬ水の色」とあるように、志々伎小学校の保護者の方をはじめ、地域の方の変わらない「やさしさ」が心にしみた3年間でした。

無事に38年間の教職を終えることができます。本当にお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

〇〇 〇〇 事務主査…五島市立崎山中学校へ

長いようで短いあつという間の3年間でした。志々伎の子どもたちが、今まで勤務してきた学校の中で、一番元気な気持ちのよいあいさつをしてくれたのが、とても印象に残っています。これからも、今のひたむきさを持ち続けて、夢を追い続けてほしいです。

本当に楽しい3年間でした。子どもたち・保護者・地域の方々、本当にありがとうございました。

【志々伎小ブランド】

「学校は、何のためにあるの？」と、改めて考えさせられた2年間でした。未来からの贈り物である「子どもたちの健やかな成長を促す」のは当然ですが、それ以外にもあるのを強く意識しました。

志々伎に住めば、志々伎小学校に行けば、他の学校に行くよりずっと心も体も健やかに成長する。夢実現の土台となる学力・体力・社会性等をこの上なく身に付けることができる。心を磨くことができる。だから、「志々伎に住もう」と卒業生や他の地域の人がある。地域再生の一助の役割も担っていると思います。

「平戸ひらめおがみ」のような志々伎小ブランドを作り上げることができる地域です。

次年度は、7年ぶりに全校児童数が40名を上回り、しばらくは下回ることがありません。志々伎小ブランドを共に作っていかれたらと思います。